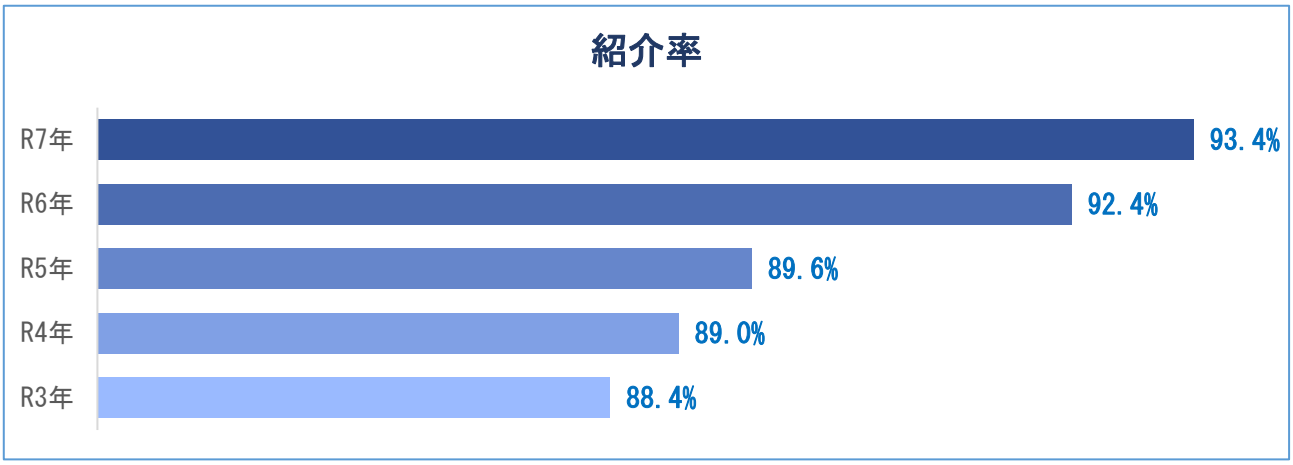
地域医療連携・訪問看護に関する臨床指標1

指標名		R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	説明
紹介率（単位＝%）		88.4%	89.0%	89.6%	92.4%	93.4%	初診患者さんに対し、他の医療機関から紹介されて来院した患者さんの割合です。
逆紹介率（単位＝%）		105.6%	103.6%	104.6%	111.9%	113.9%	初診患者さんに対し、他の医療機関へ紹介した患者さんの割合です。
地域医療連携パス（単位＝件）	脳卒中パス	126件	103件	109件	98件	91件	地域医療連携パスとは、急性期病院での治療を終了した後に地域の病院や診療所と連携し治療を継続する為の工程表のことです。 多くの患者さんがパスを利用した場合、より地域の病院や診療所と連携が取れていることを示しています。
	大腿骨頚部骨折パス	25件	21件	32件	23件	16件	
	冠動脈術後パス	0件	0件	0件	0件	0件	
	糖尿病パス	0件	0件	0件	0件	0件	
	肺がんパス	0件	0件	0件	0件	0件	
	胃がんパス	10件	4件	3件	0件	0件	
	肝がんパス	0件	1件	0件	2件	0件	
	大腸がんパス	19件	23件	8件	1件	4件	
	乳がんパス	5件	0件	0件	0件	0件	
入退院支援加算Ⅰ算定率（単位＝%）		19.3%	18.7%	20.2%	26.2%	49.6%	入院前及び入院後の早い段階から、退院に向けて支援が必要な患者さんを把握し多職種で支援を行っている患者さんの比率を表しています。そのための人員配置や支援の仕組みを作っています。

地域医療連携・訪問看護に関する臨床指標2

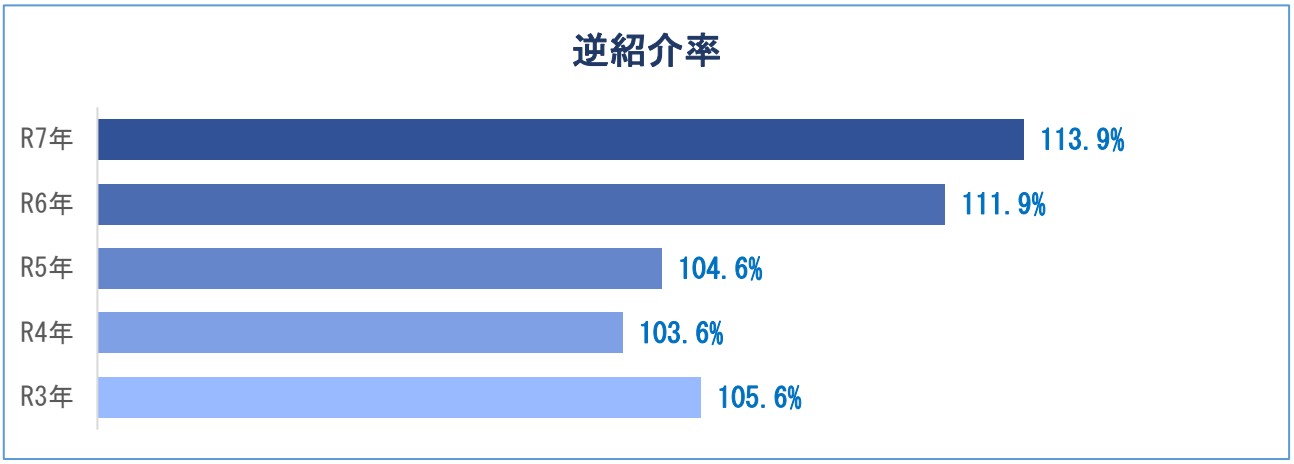
指標名		R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	説明
介護保険認定数（単位＝件）		96件	98件	111件	89件	92件	訪問看護とは、住み慣れた自宅で安心して療養生活が送れるよう、主治医の指示のもと訪問看護師がお宅までお伺いし「看護」を提供することです。医療ニーズの高い方はもとより難病・小児・終末期・リハビリなど様々な利用者様に対応しております。
訪問看護の主な疾患（単位＝件）	脳血管疾患	10件	11件	19件	16件	12件	
	循環器疾患	18件	21件	22件	25件	19件	
	神経難病	57件	47件	38件	44件	38件	
	腫瘍・癌	29件	22件	21件	13件	20件	
	整形外科疾患	9件	8件	8件	6件	4件	
	呼吸器疾患	15件	16件	9件	13件	17件	
	精神及び行動障害（認知症）	39件	40件	43件	34件	32件	
	血液疾患	12件	10件	9件	4件	2件	
	その他	29件	28件	27件	16件	22件	
訪問看護訪問件数（単位＝件）		13,885件	12,958件	13,418件	11,993件	10,812件	
訪問の頻度（単位＝件）	週4回以上	4件	5件	4件	3件	3件	
	週3回	9件	8件	10件	9件	11件	
	週2回	44件	44件	34件	36件	26件	
	週1回	88件	70件	75件	58件	69件	
	2週に1回	51件	44件	41件	48件	42件	
	月に1回以下	32件	30件	24件	26件	24件	
時間外の対応回数	携帯電話対応（月平均/件）	88件	82件	84件	88件	86件	
	緊急時訪問回数（月平均/回）	54回	40回	44回	52回	35回	

５）地域医療連携・訪問看護に関する臨床指標



$$\frac{\text{分子}：\text{年間紹介患者数}}{\text{分母}：\text{年間初診患者数}} \times 100$$

初診患者さんに対し、他の医療機関から紹介されて来院した患者さんの割合です。

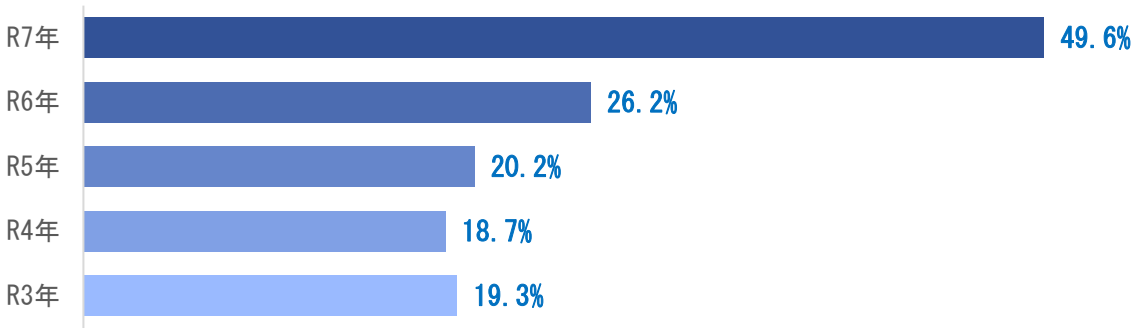


$$\frac{\text{分子}：\text{年間逆紹介患者数}}{\text{分母}：\text{年間初診患者数}} \times 100$$

逆紹介率初診患者さんに対し、他の医療機関へ紹介した患者さんの割合です。

人口の急速な高齢化等を背景に、地域全体で切れ目のない医療提供をしていくために、高度な医療を提供する医療機関にだけ患者さんが集中することを避け、症状が軽い場合は「かかりつけ医」をはじめとする地域の医療機関を受診し、必要性があると判断された場合に高度な医療機能を持つ急性期病院を紹介受診することが求められています。
また、急性期病院での治療が終了し、病状が安定した場合は「かかりつけ医」をはじめとした地域の医療機関での診療を継続していくことが求められています。
紹介率、逆紹介率共に地域の医療機関との連携度合いを示す指標であり、数値が高いほど地域の医療機関と密に連携が取れていることを表します。

入退院支援加算Ⅰ算定率



$$\frac{\text{分子}\quad：\quad\text{年間入退院支援加算Ⅰ算定数}}{\text{分母}\quad：\quad\text{年間退院患者数}} \times １００$$

入院前及び入院後の早い段階から、退院に向けて支援が必要な患者さんを把握し多職種で支援を行っている患者さんの比率を表しています。そのための人員配置や支援の仕組みを作っています。